

一人の病理医師が開いた「がん哲学外来」 -ここに生きるヒントがある-

10/6(水)
発売

主婦の友新書
末期がん、その不安と怖れがなくなる日

がん哲学外来から見えてきたもの

末期がん、その不安と怖れがなくなる日

樋野興夫

死と直面したとき、人はもう一度、生き始める!

一人の病理の医師が開いた「がん哲学外来」。人々は、そこに何を求めて訪れたのか。がん医療の隙間を埋める新しい医療の形。

主婦の友新書

「なくなる日」シリーズ 副刊!

日本人の2人に1人はがんで死ぬ時代、一人の病理医師が開いた「がん哲学外来」。医療が手放した末期の患者に対し、生きる意味、死ぬ意味などを問うこの外来が大きな評判を呼んだ。

余命を宣言されたとき、あなたは何を思うだろうか、何をしたいのだろうか……多くの患者が抱える悩みは、人間関係にあるという。それらを克服し、どう死ぬかに至るための道筋がこの本にある。いま、がんで苦しむ本人はもとより、その家族ばかりではなく、現在、健康な人へも「なぜ生きる」「死をどう迎える」という命題をつきつける。



樋野興夫(ひの・おきお)

1954年島根県生まれ。癌研病理部、米国アインシュタイン医科大学肝臓研究センター、米国フォクスチースがんセンター、癌研実験病理部を経て現職。日本癌学会理事、日本病理学会理事、日本家族性腫瘍学会理事長、日本肝臓学会の評議員などを歴任。第99回(2010年)日本病理学会総会会長。

末期がん、その不安と怖れがなくなる日
定価: 800円(税込) 発売: 2010/10/6

ISBNコード978-4-07-275263-0

< 読者様 >

ご注文は下記太枠内をご記入のうえ、お近くの書店様にお渡し下さい。

書店様ご不便の際は049-259-1236(主婦の友社コールセンター)までお電話をお願い致します。

< 書店様 >

読者様よりご注文がありました際は、番線印を捺印又は記入して頂き、03-5280-7552までfaxをお願い致します。またご注文が殺到した場合、出荷を調整させていただく場合がございます。品切れの際はご容赦ください。

単品注文書	末期がん、その不安と怖れがなくなる日 定価: 800円(税込) 発売: 2010/10/6 ISBNコード978-4-07-275263-0		書店番線印	冊
	お名前			
	ご住所			

太枠内を記入して頂き、お近くの書店様にお渡し下さい。